<時>	<広島ペンクラブの動き>※例会主話者を中心に	<広島を巡る動き>
昭和24年 1949	4月8日 広島ペンクラブ結成総会を東洋座で開く 井伏鱒二にもクラブ創立を提案され、初代会長・阿部余四男 副会長・石島忠志、村上哲夫 幹事長・羽白幸雄 会員62人でスタートする	8月：広島平和記念都市建設法の公布 9月：ソ連が原爆保有を認める
昭和25年 1950	4月15日 日本ペンクラブの川端康成会長を迎え広島ペンクラブ創立1周年記念「世界平和文化大講演会」を開催。平和宣言を発表	6月：朝鮮戦争勃発 国税調査実施 広島カープ誕生
昭和26年 1951	幹事長・紺野耕一 事務局長・沼田利平 11月：作家・原民喜の詩碑を広島城址に建立除幕	3月：原民喜が東京で鉄道自殺 峠三吉「原爆詩集」発行
昭和27年 1952	笠信太郎、島田巽、堀田善衛の三氏を迎え、講演会・座談会開催	4月：講和条約発効 8月：原爆慰霊碑除幕
昭和28年 1953	阿川弘之、内山完造氏との懇話会	6月：広島市、原爆死没者を推定20数万人と発表
昭和29年 1954	※平均月2回の例会で、地元作家や芸術家の談話を聞いた	3月：第5福竜丸、米水爆実験の死の灰を浴びる
昭和30年 1955	中野重治氏を迎え座談会	5月：原爆乙女25人治療のため米国へ出発
昭和31年 1956	二代会長・永原芳雄 幹事長・真下三郎 事務局長・竹内泰彦 広瀬実枝子 6月：「八作」の主人「鮎の話」・成瀬無極 7月：井上満講演会 8月：原北陽の童話 9月：村上忠啓「火星の話」 10月：末吉悌吉「琉球より帰りて」 11月：ジンギス汁鍋試食会12月：阿川弘之「欧米旅行みやげ」 ※年会費300円	5月：アメリカ、ビキニ環礁で初の水爆実験 7月：経済白書「もはや戦後ではない」 12月：国連総会、日本の加盟を全会一致で可決
昭和32年 1957	幹事長・紺野耕一 6月：加計慎太郎「生い立ち話」 竹島浅吉「三段峡物語」 7月：佐藤進「捕り物帖を聞く」 9月：若杉慧「世界ペンクラブについて」 ※会報1号発行（機関紙カランドリエの前身）	2月：広島市民球場の起工式 10月：インドのネール首相、原爆慰霊碑に参拝
昭和33年 1958	6月：重富芳衛「選挙違反受難記」 8月：松島綏「欧州視察から帰って」 8月：パリ祭 高田寿子「広島BAR」 10月：松崎寿和「中山貝塚の発掘」 11月：NHK藤本部長「日本のマスコミ」 12月：海見綾子「世界を一周して」	4月：広島平和公園などで広島復興大博覧会開催 5月：「原爆の子の像」の除幕
昭和34年 1959	三代会長・松浦寛次 幹事長・田淵実夫 事務局長・紺野耕一 6月：梶山季之、桂芳久、佐々木久子の三氏を招き講演会 6月：藤本忠雄「美と整形美容について」 9月：寒川光太郎「ある体験記」 10月：佐藤秀雄「外遊四方山話」 年末助け合い運動に協力、趣味の作品出品 会員数：72名	7月：チェ・ゲバラ原爆慰霊碑に参拝 8月：第5回原水禁世界大会広島大会 11月：広島市とホノルル市との姉妹都市縁組締結
昭和35年 1960	事務局広島高等洋裁に移る 竹内泰彦、海見綾子事務局担当 向井恵美子「北海道の一年」 9月：土谷厳郎「部落問題について」 10月：伊原思斉「前衛書道のこと」 年末助け合い余技展	6月：新安保条約発効。岸信介首相退陣表明 8月：原爆ドーム保存のための署名活動始まる
昭和36年 1961	4月：竹島浅吉「観光雑感」 6月：松浦寛次「諸国温泉うらばなし」 9月：浜井信三「欧米みやげ話」 11月：福井芳郎「パリ旅行の思い出」	9月：米、核実験再開発表。広島空港完成
昭和37年 1962	四代会長・田淵実夫 幹事長・真下三郎 事務局長：竹内泰彦 5月：宮本由登「楽しい雑談」 6月：土谷厳郎「眼のうらばなし」 9月：柴田亨「口腔科あれこれ」 10月：紺野耕一「道草」 11月：田淵実夫「名の話」 10月ペン誌創刊 表紙画・大木茂 19人が執筆	2月：広島・アウシュビッツ平和行進出発 3月：ヒロシマ平和巡礼、広島を出発 10月：キューバ危機
昭和38年 1963	3月：大木茂「旅のつれづれ」 7月：二上茂一郎「暴力団抗争取締り」 ペン誌2号発行 表紙画・福井芳郎	1月：「38豪雪」に県北では陸の孤島も
昭和39年 1964	五代会長・真下三郎 幹事長・竹内泰彦 事務局長・海見綾子 2月：那須静夫「官能俳句」 7月：県知事に「県立美術館建設に関する要望書」提出 ※例会費300円	3月：ノーマン・カズンズ氏に広島市特別名誉市民章 10月：中国、初の原爆実験 東京オリンピック開催
昭和40年 1965	6月：岩村昇「ネパールにおける医療活動」 8月：児玉晋「私の出来事」 渡邊羅水「沖縄歴史遺聞」 9月：大木茂「欧州の絵画」 10月：河相判事「八海事件について」 11月：兼井亨「或る勇気の記録」 ペン誌3号発行 表紙画・太田忠	2月：米機、北ベトナムのドンホイを爆撃 7月：原爆ドームの保存調査始まる
昭和41年 1966	9月：豊田清史「陶器全集姫谷を出版して」 ※原民喜詩碑修復委員会結成 ペン誌4号発行 表紙カット・浜崎左髪子	10月：サルトル・ボーボワール広島市を訪問
昭和42年 1967	2月：藤間寿香「舞踏を観る」6月：角田徳蔵「ビールの話」 9月：葉室潔「ラスベガス」 坂本寿「ソ連見たまま」 10月：宮原双馨「俳句の話」 11月：長谷川史郊「タバコの話」 ※月例会平均15名出席	5月：「原爆の図・丸木美術館」が埼玉県東松山市に完成 7月：基町「原爆スラム」で大火災発生
昭和43年 1968	六代会長・松島綏 7月：小川博「ハイビスカスは歌う」 10月：松崎寿和「草戸千軒」 11月：吉田栄夫「南極越冬隊員の話」	1月：初の韓国人原爆犠牲者慰霊祭
昭和44年 1969	2月：小山富士夫「焼きものあれこれ」 5月：磯貝英夫「学園紛争について」 9月：久保二郎「現下の沖縄の話」 10月：岡本徹「チェコの近況」 例会費800円	2月：広大全共闘、大学本部を封鎖占拠 7月：爆心地の復元地図ほぼ完成
昭和45年 1970	副会長・柴田亨 久保二郎 幹事長・竹内泰彦 2月：竹内泰彦「あこがれのパリ」 6月：長崎孝「健康」 11月：佐藤進「県会雑談」	4月：広島原爆養護ホーム開所 11月：ヒロシマ会議開催
昭和46年 1971	3月：海見綾子「台湾旅行」 7月：松島綏「新しい欧州」 10月：竹内泰彦「ソビエトみたまま」	4月：天皇、皇后両陛下 原爆慰霊碑をご参拝
昭和47年 1972	2月：松崎寿和「イランよもやま話」 ※月例会出席平均13名 会費1,000円のこと多し	5月：沖縄本土復帰
昭和48年 1973	12月：大木茂「南欧とモロッコ」 ※この頃、例会は隔月開催となる	6月：アメリカ返還被爆資料展を開催
昭和49年 1974	3月：黒田領治「古今銘椀あれこれ」	5月：インド核実験を行い、6番目の核保有国になる
※昭和50年（1975）―昭和51年（1976） 詳細な記録なし		
昭和52年 1977	七代会長・柴田亨 副会長・佐藤進 川本柳城 6月：柴田亨「楽我記30年」 9月：長崎孝「一開業医のたわごと」	5月：第1回ひろしまフラワーフェスティバル開催
昭和53年 1978	4月：斎木寿夫「黒雨について」 6月：浜崎左髪子「広島のあれこれ」 10月：真下三郎「ことわざ二十四考抜粋」	6月：国連軍縮特別総会 11月：ひろしま美術館オープン
昭和54年 1979	2月：長崎孝「北欧とび歩き」3月：定宗一宏「モロッコの印象」5月：柴田亨「口の病気」11月：広島ペンクラブ創立30周年記念祝賀パーティー開催 来賓・会員84名出席 ペン誌30周年記念誌発行 ※博物館建設要望書を広島県と広島市に提出	8月：広島空港に初のジェット機 1日2便就航 11月：カープ2度目のリーグ優勝 初の日本一に
昭和55年 1980	3月：佐藤進「中国を見て」 5月：赤翼洞水「筆の話」 7月：津田一男「プロ野球あれこれ」 9月：久保二郎「中国そしてシルクロード」 11月：藤井昭典「ブラウン管の裏側」	4月：広島市全国10番目の政令指定都市に 10月：カープ2年連続リーグ優勝 2年連続日本一
昭和56年 1981	1月：居升武邦「昔懐かしい無声映画」 5月：村上忠敬「天文学について」 9月：久保二郎「ソ連見聞記」 11月：佐藤海史「占いあれこれ」 ※例会費3,500円	2月：ローマ法王、広島で平和アピール発表 4月：原爆資料館の入館者、2,000万人を突破
昭和57年 1982	幹事長・藤井昭典 1月：伊勢木武蔵「盆栽あれこれ」 7月：荒木武市長「広島の都市計画」 9月：相原和光「広島の平和随想」11月：原田曜成「私の考え方」 ※3月ペン誌発行	4月：島原帆山、県内初の重要無形文化財保持者に 8月：国連本部で「現代世界核の脅威展」開催
昭和58年 1983	3月：村上幸彦「美術品の鑑定」 5月：今掘誠二「世界情勢ひとつの見方」 7月：兼重収「ハノーバーへ出向いて」 9月：城仙泰一郎「健康な毎日を」 11月：松島綏「焼きものと人生」 ※8月：ペン誌発行	3月：原民喜33回忌「花幻忌」開催 7月：アジア文学者ヒロシマ会議、開催
昭和59年 1984	1月：原北陽「私の人生」 3月：海塚善郎「映画のラストシーン」 7月：尾尻隆之「教育の諸問題」 11月：山仲一二「北方領土の返還」 ※5月：ペン誌発行	5月：ヒロシマを語る会、語り部運動の推進へ 11月：カープリーグ優勝 3度目の日本一に
昭和60年 1985	3月：藤井昭典「最新東南アジア情勢」 5月：川村盛明「ソ連、イタリアを旅して」 7月：今村新三「藤原啓さんの思い出」 9月：谷口雅子「魅せられて…」 11月：吉中康磨「広島の魅力」 ※5月：ペン誌発行	8月：第1回国際アニメフェスティバル開催 10月：ノーベル平和賞にＩＰＰＮＷ
昭和61年 1986	八代会長・斎木寿夫 事務局長・谷田薫實 3月：大牟田稔「梶山季之の思い出」 7月：上田宗嗣「茶の湯と日本文化」 11月：御田重宝「ソ連抑留の周辺」 ※4月：ペン誌発行	4月：チェルノブイリ原発で炉心熔解事故発生 9月：国鉄旧宇品線 92年の歴史を閉じる
昭和62年 1987	3月：柚崎博「デパート商戦あれこれ」 7月：荒木武「ソ連を旅して」 9月：吉岡典威「広島の文化あれこれ」 11月：松尾吉恭「エイズの話」 ※10月斎木寿夫会長逝去 4月：ペン誌発行	3月：「谷本清平和賞」創設 6月：衣笠祥雄選手、連続試合出場世界新記録
昭和63年 1988	九代会長・佐藤進 5月：村上王俊「シルクロードの旅」 7月：秋葉忠利「広島と平和」 9月：大沢寛三「私の洋画観賞」	4月：広島原爆病院と赤十字病院が合併
平成元年 1989	広島ペンクラブ創立40周年記念式典 副会長・久保二郎、川本柳樹 幹事長・藤井昭典 事務局長・谷田薫実	10月：22年ぶりに原爆ドームの保存工事始まる
平成2年 1990	十代会長・原田東岷、副会長・吉村馬洗、新川貞之 幹事長・桝井寛一 事務局長・大和田佳香 9月：パンフルート・岩田英憲 11月：ヴァイオリン・中畝みのり ペンの旅：津和野	7月：「ピースリボン」原爆ドームを囲む 10月：東西ドイツ統一
平成3年 1991	1月：琴・榊記弥栄 3月：ソプラノ・紙谷加寿子 7月：シャンソン・日高れい ペンの旅・尾道・大三島	1月：湾岸戦争始まる 広島新交通システム橋桁落下事故
平成4年 1992	副幹事長・田中康夫 事務局長・筧義之 9月：日中国交回復20年記念、内蒙古芸大教授によるチェロの演奏 ペンの旅:周南	4月：ゴルバチョフ元ソ連大統領夫妻、広島で市民集会
平成5年 1993	1月：青山昭美 3月：落合俊（ペルシャ湾掃海幕僚長） 5月：崔烈坤（元ソウル教育監） ペンの旅：松山	10月：広島空港、本郷町に開港
平成6年 1994	5月：渡辺茂美「アジアの素顔がやさしい」 9月：中国ペンの旅報告会 ペンの旅：上海、西安、北京、内蒙古フフホト フフホト文連との交流親善	10月：広島アジア競技大会始まる 10月：大江健三郎、ノーベル文学賞を受賞
平成7年 1995	1月：福島隆義「アジア大会」 舞踏・花元寿由季、花柳比呂彦 3月：シネツインで「髪結いの亭主」鑑賞と批評 11月：フフホト文連来広歓迎会 ペンの旅：島村抱月と石見の旅	7月：市中央図書館で「ヒロシマと文学展」開催 7月：天皇、皇后両陛下、広島をご訪問 阪神大震災発生
平成8年 1996	十一代会長・長崎孝 副会長・竹内泰彦、山本節子 幹事長・田中康夫 事務局長・内田武 7月：椎名まさ子「シャンソンの夕べ」 9月：城仙泰一郎「老いてからの性」 11月：倉橋清方「県立美術館」 ペンの旅：毛利元就と三次ワイナリー	1月：ひろしま国体、おりづる大会開催 12月：原爆ドーム、厳島神社が世界遺産登録
平成9年 1997	1月：琴・榊記弥栄 3月：筒井紘一「もてなしの心」 5月：植田譲「旅今昔」 7月：銀河船上でパリ祭 9月：平岡敬「原爆ドーム」 11月：木村美由紀 ペンの旅：吹屋・高梁	・スペイン、イタリアなどで欧州初の原爆展を開催 ・大河ドラマ放映で毛利元就ブーム、観光客増加
平成10年 1998	副会長・夏目康文 事務局長・筧義之 1月：真下三郎「江戸の初笑い」 3月：川村毅「駅伝四方山話」 5月：川西隆子「フラワー」 7月：山縣明久「シャンソンの夕べ」 11月：清水和行「盲導犬導入十周年」	5月：インド核実験、パキスタンも核実験強行 11月：日本画家・平山郁夫氏に文化勲章
平成11年 1999	1月：大和喜久男「新春映画四方山」 3月：佐々木久子「文壇今昔」 5月：広島ペンクラブ創立50周年記念大会 喜多流能楽師・友枝昭世 箏曲・榊記弥栄 6月：十代会長・原田東岷氏逝去 7月：原田東岷氏追悼例会 9月：川堀耕平「天井画龍」11月：為重哲雄「健康」 ペンの旅：京都裏千家今日庵、鹿ヶ谷、妙覚寺	5月：瀬戸内しまなみ海道が開通 6月：豪雨災害、県内で31人が犠牲になる 茨城県東海村JOCで臨海事故発生
平成12年 2000	十二代会長・仁田一也 副会長・塔之岡克則 幹事長・田中康夫 事務局長・板倉昭子 1月：上田宗嗣「秀吉・織部と上田宗箇」 3月：碓井静照「長寿社会と介護保険」 5月：高間義之「相撲四方山」 9月：佐々木憲「名水と文学」 11月：町博光「広島弁百話」	5月：17歳少年が西鉄高速バス乗っ取り 11月：国民文化祭ひろしま2000開催される
平成13年 2001	1月：雅楽安喜楽所、津軽三味線由晃会 3月：金城一国斎「漆芸」 5月：ヴァイオリン・中畝みのり 7月：シャンソン温泉川梅代、ワインアドバイザー・平本徳三郎 9月：水鳥能伸「パリに住む日本人」 10月：張利利「私と日本文化との出会い」	3月：芸予地震で大きな被害 9月：アメリカで同時多発テロ 11月：米軍支援で自衛隊が初めて戦時下で派遣
平成14年 2002	1月：胡弓・田川 3月：イキイキウォーキング・森下みさと 5月：松浦宣秀「藻塩」 9月：木村啄荘「世界のランのふるさとを訪ねて」 大谷謙「地域文芸の現況」 11月：今西和男「ワールドカップと今後の日本のサッカー」 ペンの旅：せとうち七福神島めぐり	・折り鶴が不審火で燃え、原爆慰霊碑にペンキ 8月：国立広島原爆死没者追悼平和祈念館が開館
平成15年 2003	1月：獅子舞・茶席裏千家新本社中 3月：山本一義「一球球義」 5月：入野忠芳「中国の美術・今」 7月：久村敬夫「映画あれこれ」 11月：田中登「バレエあれこれ」 ※6月：十一代会長・長崎孝氏逝去	3月：イラク戦争に人文字で反対を表明 3月：広陵高校がセンバツで12年ぶり、3度目の優勝

<時>	<広島ペンクラブの動き>※例会主話者を中心に	<広島を巡る動き>
平成16年 2004	十三代会長・碓氷静照　副会長・渡辺晋、平岡豊恵　幹事長・久村敬夫 事務局長・足立柳子 1月:水野享「のんき節」 3月:木村文隆「ヒロシマツバキ」 5月:渡辺白蘭「畑耕一を語る」 7月:中畝みのり、遠藤さつき 9月:村上清和「シネマ・バーで乾杯」 11月:山岸清「オペラ?食わず嫌い」	5月:似島で85人分の原爆死没者の遺骨発掘 ・「平成の大合併」が進み、県内から村が消えた ・新球場建設を目指す「たる募金」がスタート
平成17年 2005	1月:福原百三「篠笛をとおして思うこと」 3月:中野良彦「文学と映画」 5月:見延典子「見えてきた頼山陽」 7月:大野英人「広響の今」 9月:上田みどり「国際化の中の人間力をつけるために」 11月:吉本直志郎「文学こぼれ話」 ペンの旅:杭州、蘇州、無錫、上海	4月:呉に「大和ミュージアム」が開館 ・米軍空母艦載機の岩国基地移転案が浮上
平成18年 2006	副会長・務中昌己、由田千鶴子　1月:大和喜久男「元気で長生き笑って楽しく」 3月:袁葉「日本・中国・韓国の文化つれづれ」5月:上竹嘉和「南極物語～タロ・ジロ奇跡の生還」 7月:平塩清種「叙情の世界」 9月:鈴木信宏「曲がり角にきたナイター放送」 11月:岡崎環「厳島神社・世界遺産10周年」 ペンの旅:成都、西安、上海	・豪雪、集中豪雨、台風など気象異変が続く 4月:三次に奥田元宋・小由女美術館が開館 10月:北朝鮮が地下核実験を強行
平成19年 2007	1月:清川徹　3月:濱本康男　5月:三原捷宏　7月:岩田英憲　9月:時長浅夫　ペンの旅:宮島歴史探訪、不動院歴史探訪　徐州、曲阜、泰安、済南、上海　3月:五代会長・真下三郎氏逝去	9月:広島市で93年ぶりに9月の最高気温更新 11月:新広島球場の起工式
平成20年 2008	十四代会長・桝井寛一　副会長・川村毅　板倉昭子　理事長・平塩清種　副理事長・花井隆爾　事務局長・稲田公子 1月:藤井正一「李朝博大統領の韓国はどうなる」 3月:桑原功一「戦艦大和の生涯」 5月:大野英人「広響18年を振り返って」 7月:林昭宏(語り)・伊藤哲次(チェロ)「一人語り舞台」 9月:長野文憲(ギター)「千の風になって」 11月:加藤進「さらば市民球場・地元初優勝の時」	9月:広島で日本初の主要国下院議長サミット開催 9月:サンフレッチェ広島Ｊ１復帰を決定 9月:広島市民球場でカープ最終公式戦
平成21年 2009	3月:広島ペンクラブ創立60周年記念例会　60周年記念行事実行委員長:吉村淳　新川貞之「広島ペンクラブ文壇今昔物語」 10月:広島ペンクラブ創立60周年記念講演会　講師・落合恵子　広島邦楽連盟による演奏 1月:山本雅「アメリカ文学の妙味」 5月:村上勇「広島のミュージアム」 7月:田邊雅章「原爆で失ったもの～爆心地復元事業を通じて～」 9月:萩原一郎「最近の出版事情」 11月:土井田泰カルテット「懐かしのスタンダードジャズの夕べ」	5月:広島・長崎両市長がＮＰＴ再検討会議準備委員会に出席・スピーチ 10月:広島・長崎平和五輪宣言発表 ・第45回衆院選で民主党が308議席獲得、大勝 ・裁判員制度スタート
平成22年 2010	十五代会長・務中昌己　副会長・豊嶋睦　専務理事・吉村淳　常務理事・大谷育平　事務局長・佐藤伊佐雄 1月:袁葉「日本の正月、中国の春節」 3月:中川グリシェン裕美「やんごとなき姫君たちの衣装の重み」 5月:戸田和吉「鞆の浦の歴史的文化価値」 7月:上田由美子「私と原爆詩」 9月:土肥博雄「病院の活性化における“院長の役割”」 11月:大島衣恵「能の美を求めて」　ペンの旅:8月「福建省武夷山・アモイ・泉州」10人　10月:「海から行く―鞆の浦と御手洗」28人	11月:「ノーベル平和賞受賞者世界サミット」開催 ・7月～8月、国内各所で記録的な猛暑。113年間で一番暑い夏 ・東北新幹線、新青森まで全線開通
平成23年 2011	1月:佐藤いおり「New Year Jazz Live」 3月:藤原健蔵「東日本大震災に思うこと」 5月:川村毅「織田幹雄さんの思い出」 7月:平山助成「兄平山郁夫の思い出」 9月:秋風亭てい朝「落語を楽しむ」 11月:煙石博「広島弁について」 ペンの旅:6月「飛鳥白鳳文化の源を訪ねる　百済・新羅史跡の旅」10人　11月:「秋の日に備北文化を訪ねる」29人	9月:平和都市市長会議の加盟都市が5,000都市を突破 ・東日本大震災が発生
平成24年 2012	副会長・新本稔、渡辺玲子　専務理事・小笠邦久　1月:大野友梨子「薩摩琵琶の演奏」 3月:碓井静照「みやじまと平清盛」　5月:宮内くにえ ハープ演奏　7月:務中昌己「疲れない生活の仕方」 9月:玉置和弘「毛利元就の三本の矢物語」 11月:服部等作「僕のヒマラヤ美術巡礼の旅」　ペンの旅:5月「龍門石窟・杜甫・白楽天・黄河文明を訪ねて」14人 10月:「閑谷学校・日生五味の市・田中美術館」20人	11月:サンフレッチェ広島年間初優勝 被爆体験伝承者の養成事業スタート ・山中伸弥がiPS細胞でノーベル生理学・医学賞を受賞
平成25年 2013	1月:鼓谷義之「瀬戸の風波」「祝い獅子舞」「越天楽～寿楽」 3月:有田正希「真秀ろば倭の言葉ルーツ」日本古代史こぼれ話5月:武田浩子「巴里祭に合わせてワインのお話を……」 7月:白井朝香・梶杏子「パリ祭に寄せて　フランスシターの演奏とシャンソン」 9月:佐田尾信作「宮本常一“忘れられた日本人”を読み解く」 11月:中下毬子「あの戦争を戦ったのは、兵士だけではなかった」 ペンの旅:10月「出雲大社正式参拝」25人	4月:核拡散防止条約(ＮＰＴ)日本賛同せず 8月:高知県四万十市で全国史上最高気温41.0度を記録 ・「和食」が無形文化遺産に登録
平成26年 2014	十六代会長・新本稔　副会長・吉中康麿　専務理事・吉村淳　1月:道満紀子「ミラノの環状運河の都市理念に関する研究」 3月:平木久恵「出会いはコンビニでした!」 5月:伊藤則之「本当にウィルスはコンピューターに侵入するのか」 7月:橋本勇「オルゴールの音色に魅せられた人生」 9月:秋山伸隆「毛利氏の居城と城下町　吉田・広島・萩」 11月:吉日木晴彦「書くことの自省」 ペンの旅:10月「萩を訪ねて」23人	8月:安佐南区・安佐北区で豪雨による土砂災害、甚大な被害 ・消費税が５%から８%に ・ 2014年に日本を訪れた外国人旅行者が３千万人を突破
平成27年 2015	1月:石原有希子・大下枝里子・浅田真生「華麗なるマリンバの響き」 3月:桐原孝之「地名は警告する　広島土砂災害と八木蛇落地悪谷に因んだ民話」 5月:大野豊「今年のカープ」 7月:舛井寛一「戦中派の被爆体験」 9月:沖田孝司「ヴィオラ演奏会『伝えよう笑顔と心』」 11月:井筒智彦「限界集落から宇宙へ」 ペンの旅:11月「しまなみ海道」25人	8月:広響とアルゲリッチ協演 広島と東京で ・天皇皇后両陛下が太平洋戦争の激戦地ペリリュー島を訪問
平成28年 2016	常務理事・久村敬夫 事務局長・大谷育平　1月:山本観山「箏尺八二重奏“春の海」 3月:部谷京子「映画が誕生する瞬間ー原作・台本が動き出すー」 5月:浅原利正「人材育成を考える」 7月:チチトコレレ「ハワイアンバンド演奏」 9月:中田高「活断層は地震からどこまで予測できるのか?　～熊本地震の教訓～」 11月:池谷公二郎「今年のカープ」 ペンの旅:11月「足立美術館と安来」32人	4月:伊勢志摩サミットに伴いＧ７外相会合が行われた。 「広島宣言」発表 5月:バラク・オバマ大統領の広島訪問 ・熊本地震発生。震度７を２回観測 9月:カープリーグ優勝
平成29年 2017	副会長・迫田勝明 常務理事:川村健一　1月:丸子理生・天野真木子「ボブ・ディランとアメリカンフォークミュージック」 3月:安西巧「世界激変と日本経済」 5月:「山下江×丸子ようこ『相続』実況版」 7月:下岡寛「カンツォーネの夕べ」 9月:森重昭「原爆で死んだ米兵を通して平和を考える」 11月:ゲラ・たぶちよしえ「一笑一若」 ペンの旅:11月「維新150年歴史と紅葉を訪ねる下関の旅」24人	10月:ＩＣＡＮノーベル平和賞受賞 ・前年の出生数97万人、100万人割る ・北朝鮮がミサイル発射実験を繰り返す 9月:カープリーグ優勝二連覇
平成30年 2018	十七代会長・迫田勝明 副会長・田中博、川村健一 専務理事・大谷育平 常務理事・福田康彦 事務局長・三宅恭次 1月:広島ジュニアマリンバアンサンブル演奏 3月:小池聖一「梶山季之にみる作家とジャーナリストの境界」 5月:ダマソ・フェレイロ「ギリシャの美と芥川文学」 7月:天のたつし「父と暮らせば」読み語り芝居 9月:徳毛敦洋「周防大島の民俗学者　宮本常一」 11月:長崎昭憲「鈴木三重吉は、なぜ月刊雑誌『赤い鳥』を主宰したのか」 ペンの旅:11月「周防大島の旅」(貨物船による大島大橋損傷のため中止)	7月:集中豪雨で河川が氾濫。広島・岡山・愛媛に死者200人を超える甚大な被害 3月:広島市植物公園大温室リニューアル　・オウム死刑執行 9月:カープリーグ優勝三連覇

※参照:豊田清史「広島ペンクラブ40年史」　新川貞之・田中康夫・内田武・筧義之・板倉昭子「広島ペンクラブの歩み」

広島ペンクラブの歩み

(昭和24年～平成31年)

1949年　　2019年

平和宣言

一九五0年四月十五日、日本ペンクラブは世界における最初の原爆犠牲の地―広島において特別のミーティングを開き、平和都市として新しい途をたどる広島の復興を心からよろこぶとともに、平和にたいする熱情と決意を新たにし、世界ペンクラブの同志との交友精神と緊密なる協力により、かつ広島ペンクラブに所属する文化人諸氏との同調によって、世界平和擁護のためペンマンとして純粋誠実なる努力を果たさんことをわれわれ自らに誓うとともに、ここに内外に宣言するものであります

日本ペンクラブ「広島の会」